

『読書の秋はいかがですか』

絵本の読み聞かせは人間らしい豊かな心を育て、親子のコミュニケーションの機会となります。また、言葉や言葉の持つ“イメージ”を広げ、聞く力を育てます。

読み聞かせをするときに子どもは同じ本を何回も「読んで」と持ってくることがあります。大人は「また同じ本」と思いがちですが、子どもは読むたびに違う発見があって内容も深まり楽しめます。

また、図書館を利用すると数多くの絵本を見て子どものお気に入りの絵本を見つけることができるかもしれません。家庭にはなかなかない、布の絵本や大型絵本、紙芝居もあります。太宰府市民図書館の絵本コーナーには、たたみのスペースもあります。休館日や開館時間を事前に確認して行ってください。

寝る前の読み聞かせを習慣にすると、落ち着いて眠ることができます。

お母さんだけでなく、子どもに身近なお父さん、おじいちゃんやおばあちゃんたちも読んであげると、読み方に個性が出ておもしろいですよ。



太宰府市子育て支援センター

■919-6001